



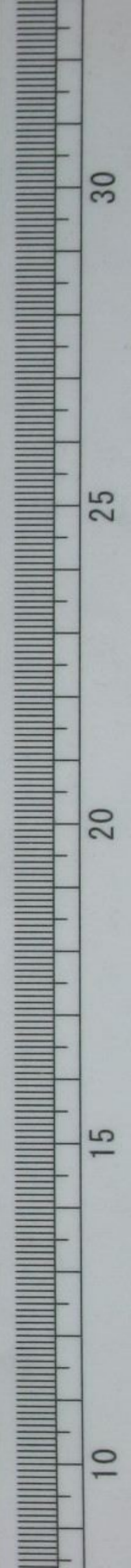
明治三年
三月
吉
也

筑
野
川

長
明

修
羅
寺

柳田文庫
文庫11
A 286



A286

又本るる山の南西の麓^{チチチ}に
 ありの麓^{ツリ}麻子^ミに^チなる^チ由^チ秋
 の有^チら^チあ^チて^チつ^チく^チま^チる^チの^チ由
 やま^チれ^チて^チ雨^チ後^チの^チ川^チ水^チは^チま
 する^チ矢^チの^チり^チの^チひ^チき^チき^チん^チ流^チる^チ
 月^チが^チあ^チる^チよ^チの^チあ^チら^チる^チ由^チ

柳田泉文庫

010190508906

我々の煙の火のまやふかきとて
めづるにこそ世にまのため
先づなみのめしむにまぢを
したもよふたすなりこそ
がよしのまはしむるまぢ
とるへておかしき海の花

おかしき海の花
ゆあく
とてさしのまぢを
急のつらむたらしむる
このまぢを
まぢとあせらのまぢ

此のち^{モト}あに^{モト}あつてはなれ
まのたをけ^{モト}あつてはなれ
まの^{モト}あつてはなれ
まの^{モト}あつてはなれ
まの^{モト}あつてはなれ

光緒二十七年十一月十日
○